

第5回 けんちく夜会「地球のデザイン」

～パーマカルチャーと大地の再生～

異常気象や大地震、災害対策や環境保護が叫ばれる中、建築だけではどうにもならない事ばかり。
今やみんなの力を結集し、自然と共存するデザインを実行する時！
ゲストには、「パーマカルチャー」と「大地の再生」の専門家の二人を迎えて
素朴な疑問から、専門的な課題まで、熱くゆるく、語りましょう。

ゲスト：天野圭介（パーマカルチャーデザイナー・アーボリスト）
：田中俊光（造園家・1級造園管理技士・株式会社ナインスケッチ 代表取締役）



日時：平成30年12月1日（土）18:00～21:00 会場受付17:30～
プログラム

①農的暮らしと「パーマカルチャーデザイン」：天野圭介氏（18:05～19:15）

②「大地の再生」土中環境と庭づくり：田中俊光氏（19:20～20:30）

③フリートーク（20:40～21:00）

会場：菊川赤れんが倉庫【国登録有形文化財】 菊川市掘之内1425※地図は裏面をご覧ください

参加費：500円 ※軽食付・飲食持込可

参加希望者は、電話もしくはFAXにて問い合わせください。

申込・問合せ先：建築士会西部ブロック事務局 TEL:053-451-5166 FAX:053-454-9030

当日連絡先：こころ現代民家研究所（株） TEL:0537-28-7040

主催：建築士会西部ブロックまちづくり委員会

■けんちく夜会とは？

建築士が企画する、建築士が今聞きたい話題や、世の中の諸々について、夜な夜な語り合う、緩やかな集會。毎回、専門家やエキスパート、情報通の方などをゲストに迎え、参加も緩やかに、一般の人にも広く参加してもらい、色んな人を巻き込んで、時には熱く、時にはゆるく、トークするイベントです。今回のゲストは、「パーマカルチャー」と「大地の再生」の専門家お二人。異常気象や大地震、災害対策や環境保護が叫ばれる中、建築だけではどうにもならない事ばかり。今やみんなの力を結集し、自然と共存するデザインを実行する時！素朴な疑問から、専門的な課題まで、熱くゆるく、語りましょう！

■ゲストプロフィール

天野圭介（あまのけいすけ）



パーマカルチャーデザイナー・アーボリスト

1985年 神奈川県生まれ。静岡県浜松市在住。大学在学中に南アフリカに留学し、日本の暮らしや社会に違和感を感じるようになり、本当の豊かさとは何かを考えているときにパーマカルチャーに出会う。その後、妻と二人でオーストラリアへ移住。パーマカルチャーと環境に配慮した農業を学ぶ。帰国後、地元春野町に戻り「ONE TREE」を開業。暮らしと生業を通して自然環境を豊かにしていくことをテーマとし、農的暮らしをベースにパーマカルチャーデザイナーやアーボリスト（登れる樹木医）として活動。全国の農的暮らしの実践者が集う会「Love Farmers Conference」の企画・運営も行う。

田中俊光（たなかとしみつ）



造園家・1級造園管理技士・1級土木施工管理技士・株式会社ナインスケッチ 代表取締役
1979年 東京都生まれ。静岡県菊川市在住。

木々が健康に生育できることを目指した、自然の植生に習った「雑木の庭」をはじめ、「地形を活かす外構」などを手掛ける。また「一般社団法人 大地の再生 結の杜づくり」の理事として、その手法を実践し、各地で大地の再生活動や講演などを行っている。

主な受賞歴：

2011年「ユニソン フォトコンテスト2011」ファサードガーデン部門ゴールド賞受賞

2014年「浜名湖花博庭園コンテスト」浜松市長賞受賞

2014年「第2回ブロックガレージデザインコンペ」入賞

2017年 三協アルミ「エクステリアデザインコンテスト2017」

ファサード部門 ゴールド賞受賞ほか多数。

■「パーマカルチャーデザインとは」

パーマナント（永続性）と農業（アグリカルチャー）、そして文化（カルチャー）を組み合わせた言葉で、永続可能な農業をもとに人と自然が共に豊かになるような関係を築いていくためのデザイン手法です。私たちの命を支えている自然の恵みである食べ物やエネルギー、水などがどこからきてどこへ行くのか、そして自分の毎日の生活がそれらにどのように関わっているのかを知り、汚染や破壊ではなく、より豊かな生命を育むことが出来るようにそれらと関わり、争うのではなく喜びを分かち合うことを前提とした人間社会を築いていくこと。これらを実現していくために、自らの生活や地域、社会そして地球を具体的にデザインします。

■「大地の再生とは」

地上に空気と水の対流があるように、地下にも同じように、水だけでなく空気も流れています。空気が無いと、酸欠状態となり、土は腐り、ヘドロ化し、微生物や小動物が住めなくなり、植物は根を伸ばす事ができません。各地で起こる、土砂災害や山林崩壊は、大地自らが空気を取り入れる為の現象でもあるのです。「大地の再生」では、土中の水脈と空気の循環を考え、大地を健全に、自然環境を改善しようという取り組みをしています。

■開催場所

菊川赤れんが倉庫（菊川市掘之内1425）※JR菊川駅より徒歩3分
※お車で越しの方は近隣の有料駐車場等をご利用ください。

■菊川赤れんが倉庫【国登録有形文化財】

明治時代、菊川の地（旧掘之内）にお茶の再製工場がありました。再製とは、茶葉が保存にたえられるように火入れをしたり、ブレンドしたりすることで、この菊川の再生工場は、近隣から集められた荒茶を再製し、開通したばかりの鉄道の貨車に積んで清水港からアメリカへ輸出していました。「菊川赤れんが倉庫」は当時、お茶のブレンド作業の倉庫として使われていたようです。いわば「お茶の静岡」を象徴する貴重な産業歴史建築物です。

